

はんだ

市議会だより

No.208
2019.8.1



半田市議会へ



- 一般質問14人が市政を問う! P.2~6
- 6月定例会審議結果 P.7・8
- 各委員会、プロジェクトの調査テーマ P.9
- 半田市議会1年間の動き P.10
- 会派紹介 P.11

表紙写真/議員集合写真(議場)

市政を問う

一般質問

6月定例会における一般質問は、6月18日、19日、20日に行われ、14人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。会議録は市議会ホームページで閲覧いただけます。または半田図書館、亀崎図書館にも設置してありますのでご利用ください。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできる二次元バーコードを掲載しています。



公明党 山田清一

取組 防犯カメラ設置の

問 平成29年度より自治区への防犯カメラ設置補助制度が導入され、補助金の上限は一自治区50万円、補助率は設置費の三分の二となつていますが、補助制度の市民への周知が必要であると考えますがいかがですか。

答 より安全安心なまちづくりの推進につなげるためにも、市報・ホームページで周知を図り市民の皆さんにも制度の存在を知っていただき、地域の要望がきちんと反映された防犯カメラの設置が進むよう努めます。

問 小中学校など公共施設への防犯カメラ設置について、設置方針及び設置計画や更新計画はどのように考えていますか。

答 公共施設のなかでも、たとえば公園のように管理者が常駐せずに子どもが集まる施設に関しては、犯罪を抑止し防犯力を高める意味で、特に防犯カメラの設置を進めていきます。該当施設に

ついては、計画的な設置・更新が図られるよう防犯カメラの設置基準を整理し方針としてまとめ、適切に対応します。



犬のフン害対策のイエローチョーク作戦

問 アスファルトなどに放置されたフンを黄色いチョークで囲い、日時を書き、フン回収を促す「イエローチョーク作戦」、芝や植込み箇所などに放置されたフンには「イエローカード作戦」が有効であるが、どのように推進していきますか。

答 「イエローチョーク作戦」と「イエローカード作戦」の意義を広く呼びかけ、取り組んでいただける個人や団体を募り、必要な物品などを提供のうえ全市的に活動を広げていきます。

イエローチョーク作戦

- ①「黄色いチョーク」で放置されているフンの周囲に丸をつける
- ②「発見日時」を書く
- ③フンは片付けずに、一週間程度様子を見る
- ④再度フンの放置があった場合は同じことを繰り返すことで減少していく


維新・半田市民の会 中川健一

半田市議会議員選挙の投票率低下が止まらない

問 東京都国立市選挙管理委員会の議事録はホームページに公開されています。ところが半田市選挙管理委員会の議事録は非公開となつています。見解をお聞かせください。

答 今後開催する選挙管理委員会と合議のうえ、ホームページで公表します。

問 指定施設内における不在者投票については、どの施設が該当するのか、選挙管理委員会のホームページにも、どこにも書かれていません。記載すべきと考えますが、見解をお尋ねします。

答 今後はホームページに掲載します。

問 選挙管理委員長の年俸は303,600円、委員は266,400円です。平成30年度は何回、合計何分の議論を行いましたか。

答 10回、延べ7時間40分でした。

問 平成31年市議会議員選挙の投票率は、一番低かった23歳は22・46%、一番高かった78歳は62・49%、平均は42・95%でした。投票率低下の原因をどう分析していますか。

答 有権者の政治離れ、選挙離れが要因であると認識しています。

問 これまでアンケート調査など投票率低下に関する客観的な分析をしたことがありますか。

答 ありません。

問 他市のアンケート調査による分析では、若年層の投票率向上には商業施設での期日前投票所設置が有効とありました。半田市もイオンやパローに期日前投票所を設置すべきと考えますがいかがですか。

答 平成29年の市長選挙からクラシティにも期日前投票所を設置しています。現時点では費用対効果をふまえ、増設しないと判断しています。

問 視覚障がい者に対する平等性を確保するための点字や音声コードによる選挙公報の配布はありますか。

答 実施可能か、今後調査します。





創造みらい半田
芳金秀展

学校と地域における連携・子育て世代から選ばれるまちに

問 教育現場における子どもたちの声を聞く窓口として理想的な手段は何か伺います。

答 現場に携わる職員が、多様な接点を持ち、連携して対応することが大切であると考えています。その上で、積極的な姿勢で取り越し苦労でも構わない想いで進めていくことが理想的であるとと考えています。

問 スクールカウンセラー派遣事業における教職員の相談件数が増えている点で、問題解決の力ウンセリングと共に開発的力ウンセリングを取り入れてはいかがでしょうか。

答 教職員に児童生徒や保護者からの相談が増えており、その後の指導や支援のためにカウンセラーと面談が必要になって増加している現状があります。今はまだ、開発的力ウンセリングの導入は時期尚早だと思いますが、大事な視点だと考えています。

問 地域ぐるみで子どもをケアする理想的な仕組みをどのように考え、課題をどのように捉えていますか。

答 「地域の子どもは地域が育てる」という考えのもと、子育て支援に関わる人や団体、行政が連携、協働して支える仕組みが必要だと考えています。今後、地域に向けて、専門的な視点や手法も共有できるような研修を進めていきたいと考えています。

問 半田市の学校と地域における連携で、特徴的で魅力的な施策は何が伺えますか。

答 本年度4月から導入した「コミュニケーション・スクール」や、これまで取り組んできた「キャリア教育」を土台として地域と共に子どもを育て、半田を知り、愛し、誇れる子に育てていきます。その上で、積極的な姿勢で教育・子育て支援を進め、子育て世代から選ばれるまちとなるよう努めていきます。



創造みらい半田
岩田玲子

幼稚園の改善を問う

問 幼稚園は、二丁目の多様な、時代の変化に伴い、こども園化されるとお聞きしています。残り5園の市立幼稚園のこども園化はどのように進めていく予定ですか。

答 現在、公立の保育園、将来的な、保育、教育二丁目の多様なに込められる環境整備を図るため、幼保一体化や、民営化などを視野に入れた、「半田市保育園等公民連携更新計画」を策定中であり、その中で、幼稚園の在り方を見据えて時期を定めていきます。計画は、今年度中の策定を目指しています。

問 市立幼稚園の2か月期間、長いという声が多く聞かれます。市内の公立保育園や、私立幼稚園が1週間で実施されている中、短くされる考えはありますか。

答 子どもにとって何が一番良いかを検討したうえで、慣らし保育の期間の妥当性を検証して



問 近年、幼稚園は、時代の変化とともに、駐車場二丁目が高まり、駐車場を近隣でお借りしている幼稚園がほとんどの中、駐車場が近隣にない園があります。今後市として、幼稚園の駐車場二丁目に対応していく考えはありますか。

答 保護者の声をお聞きしながら、各園の実情に応じた対応を図っていきます。

問 昔と違い、真夏日が長く続く等の環境の変化があり、市内5園の幼稚園に、幼い兄弟を連れて徒歩で通園することは難しい時代になってきました。駐車場の確保のために半田市が全面的にバックアップしてほしいと考えますが、いかがですか。

答 近隣の土地所有者に幼稚園と一緒にお願いに行くなど、積極的に関わっていきます。



公明党
山本半治

ドライブレコーダーの有効活用

問 「動く防犯カメラ」事件事故解決への有効手段。また「あおり運転対策」としてドライブレコーダーの普及が進んでいます。この画像を個人で活用するだけでなく、多くの市民からの画像を警察と連携して活用することで安全で安心なまちづくりが大きく進むと考えますが、いかがですか。

答 市民の皆さんからの画像提供をいただければ、安全で安心なまちづくりは大きく広がると考えます。市民参加型となるドライブレコーダーの活用については、半田警察署にも賛同をいただいておりますので、ぜひ進めていきます。

問 半田市独自のオリジナルステッカーを作成して、一日も早く実施すべきと考えますが、いかがですか。

答 独自のステッカーを作成し、マスコミにも呼びかけ早く実施することが重要と考えます。



停電時の安全対策

問 昨年9月の台風では多くの地域が長時間停電となり夜間での生活に支障をきたす方が多くみえました。また、発生が予想されている東南海地震への夜間対策も重要となっております。災害時の夜間に停電となってもコンセントに差ししておくだけで足元を照らし、取り外せば懐中電灯として活用でき、平常時には常夜灯にもなる自動点灯ライトがあれば安全は大きく確保されると思います。価格も980円とお値打ちです。市民への普及をすべきと考えますが、いかがですか。

答 自動点灯ライトは各家庭への備えとして、停電時・平常時の安全確保に有効なものであることから、地域の防災訓練や防災講話などで広く普及啓発に努めていきます。



<停電時自動点灯ライト>





無所属
鈴木健一

国民健康保険制度のあり方を問う

問 2018年4月から都道府県単位の広域化に伴い、都道府県が財政運営の主体となりましたが、財政面など、新たな課題はありますか。

答 急激な国保税の上昇を抑えるために導入されている激変緩和措置の終了により、市から県への納付金が増額された場合、市の支出が増えることから、推移に注視していく必要があります。

問 40代の夫婦、子ども2人の4人家族で年収400万円、給与所得266万円の場合、年間国保税額は37万6千500円、所得の14・2%にもなりますが、これについてどう考えますか。

答 知多5市5町の平均14・9%を下回っているため、特に高くないと考えています。
問 知多管内で特別高いわけではないから適当だというのは国保行政のみに目を向けた発言だと思えます。市民に寄り添う姿勢が求められてい

ると考えます。そのような声を市民アンケートなどで聞いたことはありませんか。

答 ありません。

問 2018年度の均等割の課税総額はいくらかですか。また18歳未満の子どもは何人いますか。そのような子供にも均等割を課す事をどう考えますか。

答 約7億2,100万円です。18歳未満の子どもは2千人です。子ども均等割は地方税法で規定されているため、課税は必要と考えます。

問 半田市が過去6年間、一般会計からの繰り入れを行っていないのは何故ですか。

答 国保財政が安定してきたため、不要となり実施していません。

問 国保とは「支えあい」でも「助け合い」でもなく、社会保障の制度です。全国市長会も住民の負担軽減のために公費の投入を求めています。市長も同様の立場であると考えてよいですか。

答 半田市の国保財政は健全であり、理解ある納税者も多いので国保税は決して高くないと考えています。



創造みらい半田
伊藤正興

将来の市営住宅について問う

問 市営住宅の用途変更及び廃止について現状、どのようにお考えですか。

答 当面の間、公営住宅法で用途変更が認められているグループホーム事業等の社会福祉事業への活用に向けてニーズを把握し、関係機関と協議しながら可能性を検討していきます。今後は、市営住宅の必要戸数の見直しを行っていきます。

上池東住宅の跡地利用を考える

問 上池東住宅の跡地を今後、どのように活用する予定ですか。

答 敷地の南側、約2,700㎡は公園、公園の北側からみらい保育園までの間は、幅4mの緑道を整備する計画です。また、約8,600㎡については、住宅地として民間へ売却予定です。

問 上池東住宅の跡地利用へのこれまでのプロセスと見解を教えてください。

答 平成26年の住宅除却利用については、民間への売却による宅地化を計画していました。平成28年に地元自治区より公園整備の要望が出されたため、公園も含めた跡地利用案を作成しました。公園の北側には地元からの要望もあり、緑道を整備することにしました。

問 将来的に隣接する大高街園との一体整備を提案しますがどのようにお考えですか。

答 豊かな自然を活かすとともに大高街園との一体化も視野に入れた整備を進めていきます。

問 上池東住宅の跡地の活用についての説明会を開催しますか。

答 住民に対して、少し説明不足の点がありましたので、説明する機会を作らせていただきます。

問 上池東住宅跡地に来る公園の名称を地帯の子どもたちから公募することを提案しますがいかがでしょうか。

答 子どもたちに命名してもらうことは、大変有意義なことだと思います。地元とも相談しながら希望に沿っていきたく考えています。



創造みらい半田
久世孝宏

医療費の助成の目的と目指すまちの姿

問 高校生を対象にした医療費の助成は、何のために行いますか。

答 短期的な目的としては、経済的な負担の軽減による子育て支援世帯への支援に加え、早期及び適正な受診機会の確保による子どもたちの健康の保持増進であり、中・長期的な目的としては、独自性のある子育て支援策を行うことにより、住みたい、住み続けたいまちとして選ばれたい魅力的なポイントの一つとすることにあります。

問 限られた財源の中で困っているから助ける、は今の時代、理由にはなりません。本当に選ばれるまちなれるのか、肌感覚のみでなく説明が必要と考えますがどうですか。

答 半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理のために実施した「結婚や出産、子育てなどに関するアンケート調査」等の結果による



と、子育て支援のなかでも経済的支援のニーズが特に高いことが示されています。また、半田市まち・ひと・しごと創生有識者会議からも、選ばれるまちなるためには「他市町と差別化できるような取り組みを実施しなければならぬ」とのご意見をいただいています。ご指摘いただいたように、県下で先行して実施している自治体において、どのような効果があったかを調査し、検証をしていきたいと思えます。

問 高校生の医療費の助成は、年間4,300万円と試算しています。本当に選ばれるまちなるために効果があるのならばよいですが、中学生の医療費の助成は、いつのまにか当たり前になり差別化になっていません。まねをされたらインパクトの無くなるような施策より、教育の質の向上や子ども自身の成長につながるような施策を実施した方がよいと思えます。どうですか。

答 教育の充実と同列に考えています。将来的に人口減少の歯止めにつながるかと考えています。

と、子育て支援のなかでも経済的支援のニーズが特に高いことが示されています。また、半田市まち・ひと・しごと創生有識者会議からも、選ばれるまちなるためには「他市町と差別化できるような取り組みを実施しなければならぬ」とのご意見をいただいています。ご指摘いただいたように、県下で先行して実施している自治体において、どのような効果があったかを調査し、検証をしていきたいと思えます。



志民ネット 小出 義一

投票率向上に向けて

問 最近の市議会議員選挙の投票率は低下しており、県下でも低いレベルにあります。どの様に評価していますか。

答 有権者の政治離れ、選挙離れが要因であるとの認識です。政治や選挙への関心を高める必要があります。

問 日曜日に仕事をしていない人の割合は、36%という調査結果があります。有権者の働き方の多様化に対応するために、共通投票所の設置や期日前投票所の増設などを検討しているかがですか。

答 期日前の投票数は増加していますが、投票率向上には結びついていません。従って期日前投票所の増設は、有効とは考えていません。

問 有権者は高齢化しており、投票所が遠く感じている方も増えていきます。当日投票所の配置を見直すなどの対応が必要ではありませんか。

答 有権者数の大幅な変化、市街地の増加見込みが無いことから、現

在の28箇所を維持したい考えです。

伊勢湾台風から60年を迎えて

問 今年で、伊勢湾台風から60年を迎えます。大きな被害をもたらした災害の教訓を生かし、防災対策をどのように進めてきましたか。

答 護岸整備や河川堤防の改修を実施し、雨水排水施設整備を進めてきました。また「地域防災計画」を策定し、自主防災組織の立ち上げを支援してきました。

問 伊勢湾台風では別名の尊い命をなくしています。命の大切さを伝えるために、慰霊行事も必要だと考えますがいかがですか。

答 本年度は、「半田市防災講演会」などを通じて、「命を守る行動」をとる啓発を進めていきます。



公明党 坂井 美穂

乳児の災害備蓄品について

問 現状の災害時の乳児の栄養確保はどのようになっていますか。

答 南海トラフ地震発生時には、愛知県の「広域受援計画」により、国から救援物資が届けられ、その中に粉ミルクが含まれています。乳児用の粉ミルクは、保存期間が1年ほどと短いため、半田市において、備蓄はしていません。

問 県の「広域受援計画」での救援物資が届くまでに3〜4日間かかりますが、その間はどのように対応しますか。

答 粉ミルクなど乳児用品につきましても、「家庭での備え」自助」として、3日分の備蓄を求めています。

問 国産の液体ミルクの製造・販売が解禁された今、他市町においても備蓄する自治体が増えている中で、半田市においても、賞味期限が切れる前に消費し、常に新しいものを補充して一定量を備蓄しておく、ローリ

ングストック方式を採用し、災害備蓄品に追加すべきであると考えますが、いかがですか。

答 保育園などの施設において活用できるよう調整し、ローリングストック方式による備蓄を直ちに始めていきます。

問 半田市におけるロタウイルスワクチンの予防接種の接種率は、現状、どれくらいですか。

答 平成30年度の出生数930人のうち、約70%の乳児が接種したものと推測しています。

問 経済的な理由で接種を断念する状況はななくすべきであり、1日も早く公費助成を開始することが、子どもの健康、ひいては命を守ることに必要と考えますが、この点について、どのように考えますか。

答 現状、知多半島の5市5町では助成を越えて通院する人もいると思えますので、やるなら是非、知多半島一緒にやりたいと思います。少なくとも5市一緒にやろうと5市の市長に提案したいと思えます。

一般質問 (質問議員が執筆しています)



維新・半田市民の会 竹内 功治

観光政策の取組の現状と展望を伺う

問 観光政策は多くの税金が使われているため、税収増に繋がりに市民生活に豊かさを与える必要があります。現状をどう評価していますか。

答 半田市観光協会のアンケートでは65%が観光客増を感じ、42%が良い効果があるとの回答から、経済効果は上がっているかと判断しています。

問 例えは「ももいろクローバーZ」は自治体とコラボしてライブを開催し観光資源のPRを行うことで、3億円以上の経済効果を生みだしています。今後、このような大きなイベントを誘致すべきでないですか。

答 経済効果が見込まれるのであれば、機会を捉えて誘致を図ります。

問 映画やドラマ、アニメ等のロケ地を誘致するフィルムコミッションに力を入れて、認知度が上昇している自治体があります。半田市も積極的にロケ地の誘致を行うべきでないですか。

答 現在、愛知県フィルムコミッション協議会に加入し情報提供を行っています。南知多町は独自で行っていますので、状況を確認して今後の誘致の方法を検討します。

問 観光の大きな魅力は食ですが、「はんだ醸すご飯」は人気が低く取組の限界を感じます。今後は寿司への特化や、人気の高い知多牛を活用したB級グルメや牛肉寿司等、新たな展開を考へるべきでないですか。

答 今後、「はんだ醸すご飯」は寿司にスポットをあてて浸透を図り、知多牛の活用も考えます。

問 半田市が誇れる山車文化について、山車会館の建設、組上げやお囃子の稽古等、山車行事の活用を考へていきますか。

答 山車会館の建設は多額の建設運営費用が掛かるため、博物館の機能と合わせて議論していきます。山車行事の活用はからくり人形の公開等も含めて検討します。

問 来年の東京五輪に向けて、増える外国人観光客の対応を伺います。

答 外国人観光客に半田市を選んでもらえるような仕組み作りを進めます。

一般質問 (質問議員が執筆しています)





維新・半田市民の会
加藤美幸

将来の半田病院のあり方を問う

問 なぜ新病院建設が必要なのですか。

答 半田病院は知多半島医療圏唯一の救命救急センターを備え拠点となる中核病院です。建設後37年で老朽化し増築による動線の悪さや耐震工事ができない場所もあり南海トラフ地震など発生した場合、医療の継続ができない可能性があるためです。

問 建設地と総事業費はどのようなのですか。

答 場所は運動公園東側南側の農地約4万㎡です。当初は半田運動公園を建設予定地としていましたが、多目的グラウンドの代替地として確保した東側土地へ建設すれば市街地に近くなることや新しいグラウンドの整備費など12億円が抑制できることから、建設予定地を変更しました。病院建設・インフラ整備・医療機器や情報システム・移転・解体などにかかる総事業費は288億円と試算しています。

問 開院はいつですか。

答 令和7年5月開院予定です。

問 救急車両の搬送経路や自家用車以外の交通手段をどう考えていますか。

答 阿久比町横松交差点から野崎交差点までの環状線の整備は課題ですが、既存の橋梁や道路を改良し救急搬送経路の確保のため協議を進めています。新病院への交通手段には路線バスの拡充や病院直行バスなど多様な移動手段を検討していきます。

問 常滑市民病院と統合する場合は、何が変わりますか。

答 それぞれの特徴を活かした役割分担で医療機器や設備の効率的配置、医師や看護師の適正配置が可能となります。質の高い救急医療や急性期から回復期までの切れ目のない医療を両病院で目指します。

問 市民へはどのように説明しますか。

答 一定の方向性が示された段階で、市政懇談会などで説明します。



志民ネット
小栗佳仁

自然災害における広報の現状と改善

問 風水害や地震時などの避難広報の現状と課題について伺います。

答 屋外拡声スピーカーは、主に屋外にいる方を対象としており、気密性の高い屋内では聞き取りにくく、気象状況や建物等の遮へい物に影響されやすいツールであり、情報を正確に伝えられない点が課題です。対策として電話21局1155番による音声サービスを運用しています。加えて、テレビやラジオ、広報車による巡回、その他、緊急速報メールや防災災害情報ツイッター、ホームページにより情報伝達を行っています。このことは、屋外拡声スピーカーの特性も説明するなか、自治区の防災訓練や出前講座などを通じて、繰り返し周知していきます。

問 コミュニティFM・防災情報メールなど広報手法の見直しについて伺います。

答 平成25年まで、民間事業者がコミュニティFM

市政を問う
一般質問（質問議員が執筆しています）

イーFMの開局に向けて準備を行っていましたが、電波制御などの問題や資金難等の理由から、計画が進まず、開局の見込みがない状況です。再び開局の動きがあれば、災害時の活用について協議していきます。緊急速報メール以外に、学校メールマガを活用し、避難情報や避難所開設情報の提供を本年5月からスタートしましたので、メール受信設定の促進啓発に努めていきます。屋外拡声スピーカーにつきましては、更新時に伝達距離の長い次世代型スピーカーの採用を検討していきます。

問 避難所での被害状況広報について伺います。

答 避難所では、施設によって異なりますが、テレビやラジオに加え、自身の携帯端末などでも情報を得ることができ、市内の詳しい状況をj得ることは難しいことから、防災行政無線などを活用して情報を掲示板や口頭により、伝達していきます。

問 避難行動要支援者の支援体制を

災害時への不安を抱えている要支援者・要配慮者に対して災害時に必要な情報をどのように伝えていますか。

答 視覚障がい者は「声の市報」やホームページの「音声読み上げ機能」、外国人は「翻訳機能」や「半田市外国人生活ガイドブック」により必要な情報を伝えていきます。ホームページで現在取得できない情報については速やかに改善、対応します。

問 災害時に向けて地域における要支援者に対する支援をどのように行っていますか。

答 毎年、避難行動要支援者名簿を作成し、本人の同意を得た上で、平常時から自治区や民生委員へ情報提供し、地域ぐるみで要支援者の把握を行っていただいています。自治区によっては、地域の防災訓練でこの名簿を活用し要支援者への声かけや避難所までの同行支援を行うなど、地域



現状
到達距離200~400m



次世代型
到達距離400~600m



創造みらい半田
水野尚美

災害時要支援者・要配慮者の支援体制を

問 災害時への不安を抱えている要支援者・要配慮者に対して災害時に必要な情報をどのように伝えていますか。

答 視覚障がい者は「声の市報」やホームページの「音声読み上げ機能」、外国人は「翻訳機能」や「半田市外国人生活ガイドブック」により必要な情報を伝えていきます。ホームページで現在取得できない情報については速やかに改善、対応します。

問 災害時に向けて地域における要支援者に対する支援をどのように行っていますか。

答 毎年、避難行動要支援者名簿を作成し、本人の同意を得た上で、平常時から自治区や民生委員へ情報提供し、地域ぐるみで要支援者の把握を行っていただいています。自治区によっては、地域の防災訓練でこの名簿を活用し要支援者への声かけや避難所までの同行支援を行うなど、地域

における支援体制は整いつつあります。

問 要支援者・要配慮者を理解するための啓発を更なる充実すべきと考えますがいかがですか。

答 半田中学校において実施された防災訓練で、中学生が高齢者宅を訪問し安否確認をしたり交流しました。他地域でもこの様な取り組みが実施されるよう、また、地域の防災訓練に積極的に参加するよう求めるなど更なる啓発を行います。

問 要配慮者が安心して避難所生活を送るための体制と、コミュニケーション支援ボードの配置についてどのようにお考えですか。

答 要配慮者用のダンボールベッドや簡易スロープなどを用意しています。また、要配慮者用のスペースを確保するなど体制は整いつつあると感じています。ご提案のあった、コミュニケーション支援ボードにつきましては、聴覚障がい者や外国人などと意思の疎通を図るツールとして有効活用ができるものと判断し、内容を検討した上で導入していきたいと考えています。



審 議 結 果 令和元年第3回定例会（6月18日～7月1日）

() 内は議案の補足説明です。

■全会一致の案件

議案 番号等	議案名
議案 46	令和元年度半田市立半田病院事業会計補正予算第1号 (半田病院の整備のために「ふるさと納税」の寄附金31万8千円を病院整備基金へ積立てるもの)
議案 47	令和元年度半田市下水道事業会計補正予算第1号 (愛知県が施工している「衣浦西部流域下水道」の建設のために、半田市負担分の財源として借り入れた企業債の一部を、借り入れ申し込み後に愛知県から負担金の減額通知があったため、繰上償還するもの)
議案 48	半田市総合計画条例の制定について (半田市として、総合計画の位置づけを明らかにし、総合計画策定に必要な事項を規定するもの)
議案 49	半田市市税条例等の一部改正について (個人市民税における住宅ローン控除制度の拡充及び子どもの貧困に対応するための非課税措置の導入等)
議案 51	半田市水路等の管理に関する条例の一部改正について (規格の変更に伴い、記載の字句について、「日本工業規格」を「日本産業規格」に改めるもの)
議案 52	アイプラザ半田天井等改修空調工事請負契約の締結について (経年劣化した空調設備を全面更新する工事について、工事請負契約を締結するもの)
議案 53	半田市公平委員会の委員の選任について (任期満了に伴い、新たに瀧本真氏を選任するもの)
議案 54	半田市固定資産評価審査委員会の委員の選任について (任期満了に伴い、引き続き新美邦廣氏を選任するもの)
議員 提出2	特別委員会の設置について

■その他の案件

議案 番号等	議案名
報告 8	専決処分の報告について(職員が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告 9	半田市土地開発公社の経営状況について
報告 10	平成30年度半田市一般会計繰越明許費の繰越しについて
報告 11	平成30年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告 12	平成30年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計繰越明許費の繰越しについて
報告 13	平成30年度半田市立半田病院事業会計予算の繰越しについて
	特別委員会委員の選任について

議案 番号等	議員名 議案名	創造みらい半田											公明党			維新・半田 市民の会	志民 ネット	自民 クラブ	無所属	議決 結果					
		石川 英之	芳金 秀展	沢田 清	水野 尚美	鈴木 幸彦	伊藤 正興	澤田 勝	岩田 玲子	渡辺 昭司	久世 孝宏	榎原 伸行	山田 清一	坂井 美穂	山本 半治	加藤 美幸	中川 健一	竹内 功治	小栗 佳仁		小出 義一	新美 保博	嶋崎 昌弘	鈴木 健一	
議案 44	令和元年度半田市一般会計補正予算第1号 (総務：寄付金を基金に積み立てるもの。一般財団法人自治総合センターコミュニティ助成金を財源に、緑ヶ丘区始め4団体から要望のあった備品等を購入するもの等) (文教厚生：感染症リスクのある未就学児に対応する地域型保育事業等) (建設産業：2市3町共同で建設する新しいごみ処理施設の予定地で、新たに建設廃材の埋設が確認され、その処理のために負担金を約3,385万円増額するもの等)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	原案 可決
議案 45	令和元年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第1号 (低所得者の介護保険料の軽減強化に伴う歳入予算を補正するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決
議案 50	半田市介護保険条例の一部改正について (消費税率引上げの財源を、保険料軽減に適用するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決
請願 1	後期高齢者医療の自己負担を2割にしないことを求める請願	議	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不	採	不採択	

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員
※請願については、採択することを「採」、不採択とすることを「不」と掲載しています。

反対討論

議案44・45・50号に反対

鈴木健一議員
消費税増税分を原資とした介護保険条例の改正案と関連する議案に対し、反対です。第一段階から第三段階の介護保険料の引き下げを消費税で賄うというのは平均0.05%の介護保険料の引き下げも帳消しにしてしまいます。また消費税が増税されなかった場合は引き下げの事をしないというのはご都合主義です。

議案44号に反対

新美保博議員
議案44号中の知多南部広域環境組合への負担金の増額は、当初の値引き契約や、契約後新たに判明した、産業廃棄物処理に問題があります。また、組合もその問題を十分に認識していたにも関わらず、手立てを講じず、着工間際になって、市の負担金を上乗せする議案上程をしたことに賛成できるものではありません。

公共施設のあり方調査特別委員会

公共施設の今後のあり方について、調査研究していきます。

委員長 山田 清一
副委員長 伊藤 正興
委員 新美 保博
小栗 佳仁
水野 尚美
坂井 美穂
中川 健一
竹内 功治
渡辺 昭司
榎原 伸行

中小企業振興調査特別委員会

中小企業振興策について調査研究していきます。

委員長 久世 孝宏
副委員長 鈴木 健一
委員 嶋崎 昌弘
小出 義一
芳金 秀展
山本 半治
加藤 美幸
澤田 玲子
岩田 玲子

令和元年度 各委員会 プロジェクトの調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行っています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

総務委員会

新しい広聴のあり方について

現在半田市では、総合計画をはじめとした、各種計画の策定・見直しに、幅広く市民から意見を聴き、その反映に努めています。

しかし、市民の関心が高い施策や事業の計画立案には、十分な市民参加が得られていない状況です。

市民協働を進めている半田市として、今後、企画段階から、市民の声を幅広く聴くことで市民の望む、よりよい市政を実現していくことが出来ます。幅広い市民の参加を求め、その声がこれまで以上に市政に反映されるよう、市民モニター制度、市民討議会等の、新たな広聴の手法やそのあり方について、調査研究を行います。そして、今後、幅広い市民の声を活かした市政運営が為され、協働のまちづくりが、更に推進されるよう取り組んでいきたいと考えます。

文教厚生委員会

生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について

平成13年に国が「文化芸術振興基本法」の制定して以降、文化振興は多くの自治体で重要施策として捉えられています。県下でも文化振興計画を整備している自治体は、20を数えるまでになっています。

文化として捉える分野を定め、目指す目標や取り組み方を見直すことは有意義なことです。近隣でも「文化振興計画」を策定し、目覚ましい成果を出している自治体もあります。先進自治体の中には、所管を市長部局に移し、より積極的な推進を図っている事例もあります。

半田市の「文化振興」は、生涯学習推進計画の中の一つの項目に位置付けられ、教育委員会の所管となっています。「文化振興」を進める目的を再確認し、豊かな市民生活活造りに繋がるよう見直しを図っていきます。

建設産業委員会

都市計画マスタープランから見た景観を生かしたまちづくりと地域活性化について

半田市における景観を生かしたまちづくりについては都市計画マスタープランで五つある都市づくりの目標の一つに、「歴史と文化が薫るまち半田」と説明があります。具体的には平成22年策定の景観計画と連動しながら景観形成重点地区整備事業（景観整備工事と景観形成に寄与する建築物等への助成を行う）と、ふるさと景観づくり推進事業などを実施しています。

ところが、景観形成重点地区になっている亀崎地区、岩滑地区、半田運河地区ともに景観の形成が遅々として進みません。また、保存すべき建築物の解体が進むなど、半田市民の心の故郷をどうすべきかの岐路に立たされていると言っても過言ではありません。そこで、現在半田市が取り組んでいる景観を生かしたまちづくりと地域活性化を大きく前進させる手立てを調査研究します。

議会運営委員会

議会のICT化について

議会運営委員会では効率的で迅速な議会運営を行う有効な手段として、ICT（情報通信技術）を調査し、議会関連資料の電子化、ペーパーレス化、文書の保存・管理の効率化を調査研究します。

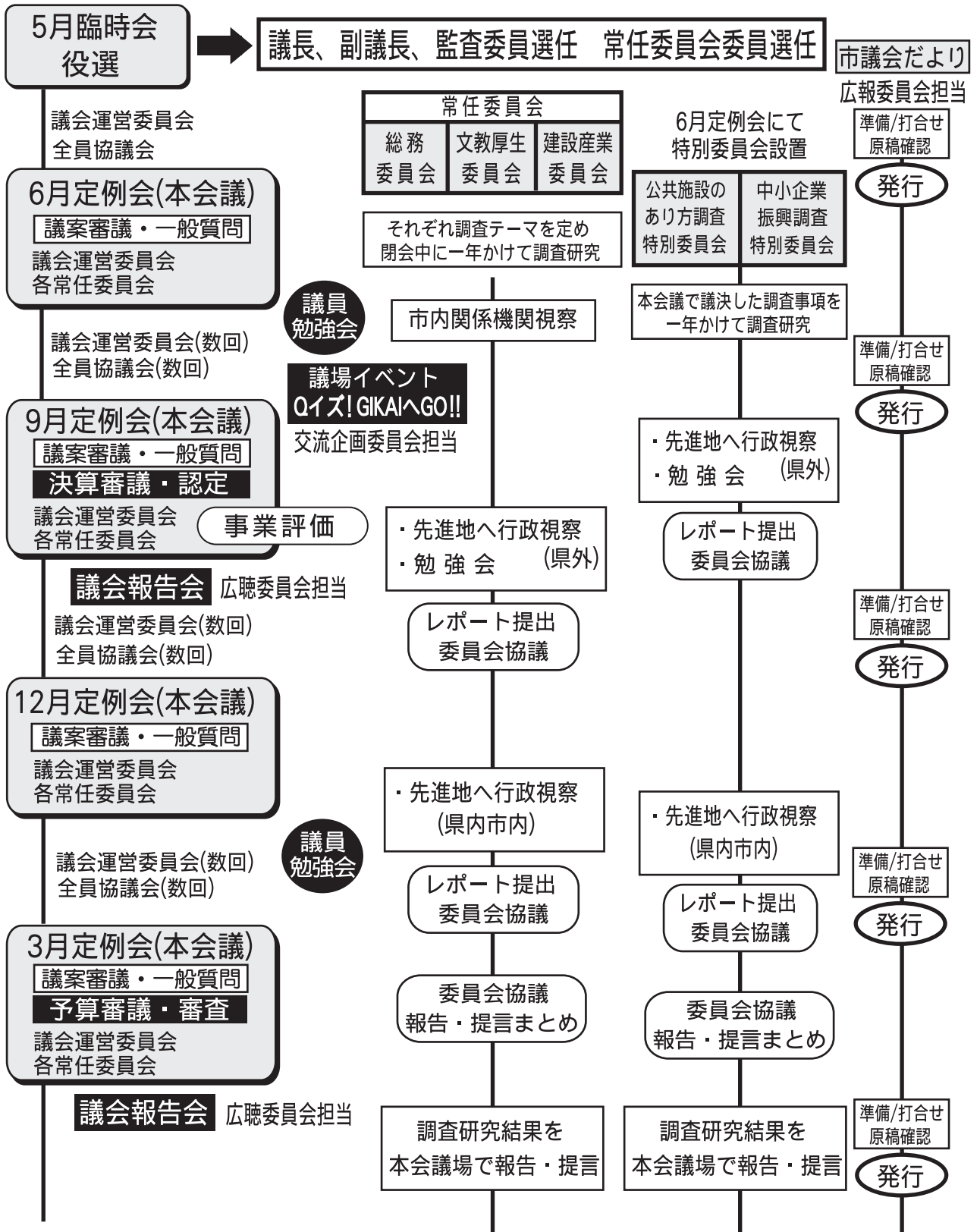
政策調査プロジェクト

小中学校等での日本語教育の対応について

市内小中学校には、日本語教育が必要な児童生徒が令和元年5月1日時点で20名それぞれ小学校へ通学しています。一日でも早く日本語でコミュニケーションがとれ、皆と一緒に授業が受けられるよう効率的な日本語教育環境を整うことを望みます。以上、議長より諮問を受け速やかで的確な提言をするため調査研究します。

令和元年度

半田市議会 一年間の動き



* この他、各種審議会や知多半島内の市町で構成する組合議会へ出席します。
 * 政務活動費を活用した調査研究として、参考図書購入や先進地への視察、勉強会等への参加も実施しています。

住みやすい半田を目指して、22名でがんばっています！

半田市議会
会派の紹介

会派とは…

共通した考えを持ったものが集結し、活動する議会内団体です。

半田市議会基本条例の中で議員は議会活動を行うため、会派を結成することができると定めています。

会派は政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成し、議長や市長に政策の立案及び政策の提言をすることができます。

会派は、議会運営、政策立案等に関し、積極的に会派間で調整を行い、合意形成に努めています。

創造みらい半田



代表／久世孝宏 11名

維新・半田市民の会



代表／中川健一 3名

公明党



代表／山田清一 3名

自民クラブ



代表／新美保博 2名

志民ネット



代表／小栗佳仁 2名



無所属

※半田市議会では、2名以上を会派と定義しています。

～議会クイズ大会～

第3回 **クイズ!GIKAIへGO!!**



市内中学生を対象にクイズ大会を開催します。近い将来、選挙権を有することとなる中学生に議会や半田市のことについて関心を持ってもらおうと、クイズ大会を企画しました。

【日時】 8月23日(金) 13:30～ 【場所】 半田市役所 5階 議場



一般の方の応援も大歓迎です！ぜひ議場にお越しください。
(大会参加者の募集は、6月15日号の市報及び各中学校へご案内しました。)

議会報告会を開催します

- 日 時／令和元年10月4日(金) 午後7時00分～午後8時30分
- 場 所／雁宿ホール2階 視聴覚室(前回と会場が変わります)
- 内 容 決算議案の概要、結果報告及び
一般質問の概略、意見交換会等



皆さんお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

今後の本会議の予定

9月定例会 8月27日(火)から9月25日(水)

※会期中の日程は約1週間前の会議で決定します。

あ と が き

半田市では、小中学校普通教室と幼稚園保育室へのエアコン設置が完了し、子ども達の教育環境が大きく改善されました。ところで、エアコンと扇風機を併用することで体感温度が2～3度下がることをご存知ですか。上手に使用すれば節電になります。また、溜めた雨水を打ち水に使用すれば温度を下げると共に節水になります。

皆様も環境にやさしい取り組みで猛暑を乗り切っていただきたいと思えます。

広 報 委 員 会

- 委員長 中川 健一
- 副委員長 山本 半治
- 委員 小出 義一／伊藤 正興
- 澤田 勝／久世 孝宏

編 集 ・ 発 行 半 田 市 議 会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail: gjji@city.handa.lg.jp



半田市議会へ